

2013 年度 認定社会福祉士特別研修 参加者募集要項

1. 趣旨

特別研修は、認定社会福祉士の認定申請に必要な要件の一つである、研修履修に関する経過措置対応として開催します。

認定社会福祉士になるためには次の要件を満たすことが必要です。

- ①社会福祉士資格を有すること
- ②日本におけるソーシャルワーカーの職能団体で倫理綱領の権能を持っている団体の正会員であること
- ③相談援助実務経験が5年以上あること
- ④別に例示する実務経験があること
- ⑤認められた機関での研修を受講していること（研修受講 20 単位及びスーパービジョン実績 10 単位）

今回の経過措置は、過去の研修履歴を評価し、特別研修を修了することで、「⑤認められた機関での研修を受講していること」とみなすものです。したがって、今回の経過措置が適用され、上記要件の①から⑤までを満たした者は認定社会福祉士の認定申請ができます。

過去の研修履歴とは、ソーシャルワーカーの職能団体が行う生涯研修において 180 時間（12 単位）以上の研修履歴が必要です。認証・認定機構では日本社会福祉士会の生涯研修と日本医療社会福祉協会の生涯研修を対象として認めています。

なお、特別研修の修了をもって認定社会福祉士になれるわけではありません。認定社会福祉士になるためには、別途、認定申請が必要です。

2. 特別研修の目的

特別研修は認定社会福祉士認定のための経過措置対応として、修了者には認定社会福祉士同等の実践力があることを担保することを目的としています。認定社会福祉士認定の本来の要件・水準と同等以上であること、すなわち認定社会福祉士の要件である 30 単位を取得した者相当以上であり、具体的には研修 20 単位相当量の研修受講による知識・技術を習得していることを確認し、スーパービジョン 10 単位相当量の実践力を得ていることの確認を行います。

【認定社会福祉士の定義】（認定社会福祉士認定規則第 2 条から抜粋）

社会福祉士及び介護福祉士法に定める相談援助を行う者であつて、所属組織を中心にした分野における福祉課題に対し、倫理綱領に基づき高度な専門知識と熟練した技術を用いて個別支援、他職種連携及び地域福祉の増進を行うことができる能力を有することを認められた者をいい、次の各号に掲げる役割を果たす。

- (1) 複数の課題のあるケースの対応を担当する。
- (2) 職場内でリーダーシップをとる。実習指導など人材育成において指導的役割を担う。
- (3) 地域や外部機関との対応窓口となる（窓口として緊急対応、苦情対応などに関わる。）
- (4) 関連分野の知識をもって、他職種と連携する。職場内でのコーディネートを行う。組織外に対して自分の立場から発言ができる。

3. 特別研修の基本フレーム

- (1) 研修 8 単位分（12 単位分は過去の研修履歴を評価）については、支援の開始から終結（もしくは事業の開始から終了）までのレポート提出を求め、共通専門及び分野専門の知識を確認します。
- (2) スーパービジョンについては、支援過程において重要と考える特定場面の出来事（逐語など）とその際の判断や推察を記述したレポートの提出を求め、専門的な技術や根拠をもって適切に判断・行動ができているかどうかを確認します。

4. 主催

認定社会福祉士認証・認定機構

5. 受講対象者

特別研修は、当研修を修了することで認定社会福祉士の認定申請を行う予定がある者を対象に開催します。従って、受講要件は認定社会福祉士の認定要件と同様になります。具体的には次の事項をすべて満たすことが必要です。

- ①社会福祉士資格を有すること
- ②日本におけるソーシャルワーカーの職能団体で倫理綱領の権能を持っている団体の正会員であること
(現時点では日本社会福祉士会及び日本医療社会福祉協会が該当します。)
- ③相談援助実務経験が5年以上あること
- ④別に例示する実務経験があること
- ⑤日本社会福祉士会もしくは日本医療社会福祉協会の生涯研修で180時間以上の研修を受講していること
(日本社会福祉士会の場合は共通研修課程修了3回以上の方、または2回修了かつ専門分野別研修4単位以上取得している方が対象となります)
※③は認定社会福祉士申請の要件と同様、社会福祉士資格取得後の実務経験で、かつ過去10年以内の実務経験が対象です。
※④に関しては、認定社会福祉士の認定申請時に「実務経験内容」を提出いただきます(認定社会福祉士制度認定規則施行細則参照)。今回の研修受講申込時は不要です。

6. 定員

40名(先着順)

7. 集合研修日程及び会場

集合研修Ⅰ 2013年10月5日(土)～6日(日) CIVI 新大阪研修センター(新大阪駅徒歩7分)
集合研修Ⅱ 2013年11月30日(土) CIVI 北梅田研修センター(JR大阪駅徒歩5分)

8. 受講費

23,000円(事前振込)

9. 申込期間

2013年7月31日必着。申込締切前でも定員となり次第、締め切ります。なお、申込者が少数の場合には研修を開催しないこともございますのでご了承ください。

10. 受講可否の連絡

受講可費連絡は、8月15日(木)ころに郵便にて発送します。課題レポート、会場案内、受講費の納入方法、懇親会、キャンセル等の扱いについては、受講可費の連絡時にご案内します。

11. 修了要件

集合研修への全出席、全レポート提出は必須です。そのうえでレポートの内容を評価し修了判定します。

12. 研修プログラム(予定)

自宅学習と集合研修を行います。

13. 研修期間の延長

集合研修Ⅰ受講後、やむを得ず集合研修Ⅱ(自宅学習Ⅱ含む)の受講ができない場合は、次回開催する特別研修の集合研修Ⅱ(自宅学習Ⅱ含む)を受講することができます。費用は別途必要です。

14. 認定社会福祉士の認定申請

認定社会福祉士になるためには、別途、認定申請が必要です。申請受付期間は別途ホームページ上で案内します。

■研修プログラム（予定）

区分	日程・会場	内容	
自宅学習Ⅰ	レポート締切 9月20日（金）	レポートを作成・提出 1)課題レポート1 理論に関する事前学習レポート 「バイオ・サイコ・ソーシャルモデル」「生態学的視点」「システム理論」についての説明（3000字程度） 2)課題レポート2 「自身の実践支援の開始から終結までの展開過程」 （3,000字程度） 3)課題レポート3 「自身の実践の特定場面における振り返り」 （字数制限無し）	
集合研修Ⅰ	10月5日（土） ～6日（日） <大阪>	1日目	
		時間	内容
		13:00～13:15	開会挨拶
		13:15～16:15	講義「知識と実践の融合」 「社会福祉実践における価値」 講師：岡田まり（立命館大学教授）
		16:30～18:00	演習「事例検討」 講師：片岡靖子（久留米大学准教授）、 他数名の予定
		2日目	
		時間	内容
		9:30～12:00	演習「事例検討」 講師：片岡靖子、他数名の予定
		12:00～13:00	昼食・休憩
		13:00～15:15	演習「事例検討」 講師：片岡靖子、他数名の予定
15:30～16:00	総括 講師：岡本民夫（同志社大学名誉教授）		
自宅学習Ⅱ	レポート締切 11月15日（金）	レポート作成・提出 課題レポート4：「自身の実践の特定場面における振り返り ～集合研修Ⅰをふまえて自身の実践を省察する～」	
集合研修Ⅱ	11月30日（土） <大阪>	時間	内容
		10:40～10:45	開会挨拶
		10:45～12:30	講義「ピアスーパービジョンの進め方」 演習「事例検討（ピアスーパービジョン）」 講師：潮谷恵美（十文字学園女子大学准教授）、 片岡靖子、岡田まり、他数名の予定
		12:30～13:15	昼食・休憩
		13:15～16:00	演習「事例検討（ピアスーパービジョン）」
		16:00～16:30	総括 講師：岡本民夫